

大庭バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

しもくろだ 下黒田Ⅱ遺跡現地説明会資料

令和元年9月7日（土）

島根県埋蔵文化財調査センター

島根県埋蔵文化財調査センターでは、国道432号大庭バイパス建設事業に伴い、平成23年度から発掘調査を行っています。今年度は6月から下黒田Ⅱ遺跡の発掘調査を行っており、このたび明らかになった調査成果についてご報告します。

なお、調査にあたってご理解、ご協力をいただきました地元の皆様、松江県土整備事務所、松江市教育委員会を始めとする関係者の皆様にあらためてお礼申し上げます。

下黒田Ⅱ遺跡について

・場所：松江市大庭町

古代から中世にかけての出雲の中心地にあたり、周辺には国史跡山代二子塚古墳、大庭鶏塚古墳、出雲国山代郷遺跡群正倉跡などの重要な遺跡が多数所在しています。

・立地：茶臼山南西麓の標高22m前後の台地上にあります。

・調査面積：約1,000㎡

・確認した遺構：室町時代の溝、江戸時代初めの土坑、江戸時代以降の井戸や土坑



発掘作業の様子